

教科 国語	の目標：
【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	書	読					
1 学 期	【古今著聞集】 ・著名な和歌にまつわる語を読み、説話として語り伝えられた背景事情について理解を深める。 ・説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色、主として和歌の修辭について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。 【推蔵・呉越同舟】 ・現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 ・故事・漢語という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・訓読のきまりについて理解を深める。	・指導事項 ・著名な和歌にまつわる語を読み、説話として語り伝えられた背景事情について理解を深める。 ・現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 ・教材 古今著聞集・推蔵・呉越同舟 ・一人1台端末の活用 等			○	・積極的に説話を読み、和歌を含んだ説話の特質について理解を深めようとしている。 ・和歌の修辭について理解し、学習の見通しをもって調べたり発表しようとしていたりしている。 ・故事成語の意味を進んで調査するとともに、その由来となった語を読んで、わかった内容を説明しようとしている。	○	○	○	14
	【今物語】・著名な和歌をふまえた語を読み、「やさし蔵人」の逸話を通して語り伝えようとしたことを読み解く。 ・説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉える。 ・編者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主に助動詞に関して、文語のきまりへの理解を深める。 【愚逆鱗知音】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・教材 【今物語】【愚逆鱗知音】 ・一人1台端末の活用 等	・指導事項 ・説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・教材 【今物語】【愚逆鱗知音】 ・一人1台端末の活用 等			○	・『古今著聞集』『沙石集』と読み比べ、和歌を含んだ説話の特質について積極的に理解を深めようとしている。 ・助動詞「る」「らる」の意味を理解し、学習の見通しをもって説明しようとしている。 ・故事成語の意味を進んで調査するとともに、その由来となった語を読んで、わかった内容を説明しようとしている。	○	○	○	16
	定期考査						○	○		1
	【徒然草】 ・中世と政変の時代を生きた作者の、世の諸事象に向けた批評の目を通して、ものの見方や考え方を深める。 ・さまざまな文体を駆使した随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・作者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 ・我が国の文化の特質について理解を深める。 【鼓腹撃壤】・文語のきまりについて理解を深める。 ・史伝を読んで登場人物の言動を押さえて、古代中国の理想政治のあり方について理解を深める。 ・史伝という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。	・指導事項 ・さまざまな文体を駆使した随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・史伝という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・教材 【徒然草】【鼓腹撃壤】 ・一人1台端末の活用 等			○	・随筆に表れた作者の考えを積極的に読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。 ・作品に表れた無常観を読み取り、学習課題に沿って、我が国の中世的なものの見方について考えを深めようとしている。 ・積極的に史伝を読み、登場人物の言動からうかがえる古代中国の理想政治のあり方を捉えようとしている。	○	○	○	17
	【方丈記】鎌倉初期という時代の転換期に作者が抱いた、人の世に対する思いを通して、ものの見方や考え方を深める。 ・和漢混雑文で書かれた随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・作者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 ・我が国の文化の特質について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。	・指導事項 ・和漢混雑文で書かれた随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・教材 【方丈記】 ・一人1台端末の活用 等			○	・作品に表れた無常観を粘り強く読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。 ・文体の歴史的背景をふまえて、作品を深く読み取ろうとしている。 ・積極的に史伝を読み、登場人物の言動からうかがえる古代中国の理想政治のあり方を捉えようとしている。	○	○	○	17
	定期考査						○	○		1

	[伊勢物語]・新緑の中で和歌が来ている夜役を押さえながら、登場人物の心情を読み味わう。 ・歌物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・歌物語の特徴について理解を深める。 文語のきまりについて理解を深める。 [鶯鳴物語] ・戦国時代を背景とした国の状況を押さえ、作中に描かれた孟嘗君の考えや人物像を読み取る。 ・史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。	・指導事項 ・物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わう。 ・戦国時代を背景とした国の状況を押さえ、作中に描かれた孟嘗君の考えや人物像を読み取る。 ・教材 [伊勢物語][鶯鳴物語] ・一人1台端末の活用 等	・歌物語を読み、文語のきまりや古典特有の表現に注意しながら、積極的に内容をつまようとしている。 ・学習の見通しを持って歌物語を読み、文章の中で和歌が重要な役割を果たす歌物語の特徴について、理解を深めようとしている。	○ ○ ○ ○ ○	20
2学期	[竹取物語]・平安初期に書かれた作り物語の場面設定や心理描写を読み味わい、その伝奇性を生んだ古代人の想像力に触れる。 ・伝奇的な作り物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・作者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 文豪を読み、課題に応じて調査した成果をまとめた発表したりする。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・古典の文や文章の構成・展開の仕方について理解を深める。 [鴻門之会]・登場人物の描写を読み解くことを通じて、戦乱の時代を生きた人々の人物像について考察を深める。 史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・作者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。	・指導事項 ・平安初期に書かれた作り物語の場面設定や心理描写を読み味わい、その伝奇性を生んだ古代人の想像力に触れる。 ・登場人物の描写を読み解くことを通じて、戦乱の時代を生きた人々の人物像について考察を深める。 ・教材 [竹取物語][鴻門之会] ・一人1台端末の活用 等	・平安初期の作り物語を読み、文語のきまりや古典特有の表現に注意しながら、積極的に内容をつまようとしている。 ・学習の見通しをもって平安初期の作り物語を読み、その特徴について、理解を深めようとしている。	○ ○ ○ ○ ○	18
3学期	[源氏物語]・歌物語と作り物語の二つの系譜を受け継ぐ長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端に触れる。 ・長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 [背水の陣]・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・史伝という文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。	・指導事項 ・歌物語と作り物語の二つの系譜を受け継ぐ長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端に触れる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・教材 [源氏物語][背水の陣] ・一人1台端末の活用 等	・今までの学習を生かして長編物語をよみ、人物造形・心理描写・和歌の役割などに注意しながら、積極的に内容をつまようとしている。 ・内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。	○ ○ ○ ○ ○	18
	[大鏡]・歴史物語という、実際の歴史に取材した物語を読む。宮を中心とする権者たちの姿の一端に触れる。 ・歴史物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・作者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 [雑説]・本文の展開を的確に捉えるとともに、比喩にこめられた作者の考え方について理解を深める。 ・教材 [大鏡][雑説] ・一人1台端末の活用 等	・指導事項 ・歴史物語という、実際の歴史に取材した物語を読み、宮を中心とする権者たちの姿の一端に触れる。 ・本文の展開を的確に捉えるとともに、比喩にこめられた作者のものの考え方について理解を深める。 ・教材 [大鏡][雑説] ・一人1台端末の活用 等	・今までの学習を生かして歴史物語を読み、作者の意図をふまえて内容的に正確に捉え、構成や展開についての積極的に評価しようとしている。 ・内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。 ・積極的に論説を読んで文章の展開を整理するとともに、比喩にこめられた作者の考えを捉えようとしている。	○ ○ ○ ○ ○	合計 140